

有限貿易商會規則

當商會ノ營業ハ諸商人及製造所ノ依頼ニヨリ生糸、製茶、蠶卵紙、
 鐵産、金屬、陶、銅、漆、器其他諸般ノ製作物ニ至ルマテ總テ内
 國ノ産出ニシテ外人ノ需用ニ應スル物品ヲ直ニ外國ニ輸出シ之ヲ
 賣捌キ又諸官省ノ御注文品並ニ諸商人ノ需ニ應シ外國ノ産出ニシ
 テ内國ノ必要ニ供スル物品ハ咸ク之ヲ其本國ヨリ直ニ輸入シ且輸
 出入物品ノ荷爲替取扱等専ラ内外貿易ノ媒介ヲナシ其便益ヲ謀ル
 ヲ目的トス

第一條

當商會ノ名稱ハ有限責任貿易商會ト稱スヘシ

第二條

當商會ノ本店ハ東京府下日本橋區西河岸町拾五番地ニ設置シ横濱
 及神戸ニ支店ヲ置キ猶營業ノ景況ニヨリ適當ノ地ニ支店或ハ代理
 店ヲ設クルコアルヘシ

第三條

當商會開業ノ始メニ際シ差向キ英、佛、米、清ノ四ヶ所ニ代理店
 ヲ設ケ往々商業ノ模様ニ從ヒ海外各國ニ支店或ハ出張店ヲ設ケ又
 社員ヲシテ臨時出張セシムルコアルヘシ

第四條

當商會營業年間ハ當明治十三年ヨリ向廿ヶ年ト定ム

第五條

當商會ノ資本金ハ貳拾萬圓ト定メ之ヲ二百株ニ分割シ一株一千圓
 トス
 但營業ノ景況ニヨリ株主ノ決議ヲ以テ資本金額ヲ増減スルコ
 アルヘシ

第六條

當商會ノ株主タル者ハ其引受タル株式一株ニ付株式券狀一通宛ヲ
 領收スヘシ其雛形左ノ如シ

有限責任貿易商會株式券狀		殿儀
我貿易商會ノ規則ヲ確守シ明治 年 月 日		
ヨリ當商會株金ノ内一千圓即一株ノ所持主タルコヲ		
証スル爲メ此株式券狀ヲ交付致候也		
明治 年 月 日	貿易商會社長	
	何 誰	印
	同 支配人	印
	何 誰	印
	社 印	

第七條

當商會ノ株式ヲ賣買讓與スルニハ必ス其結約ニ先チ當商會ニ照會シ其承認ヲ受クヘシ

但開業後二季間ハ(六ヶ月ヲ)賣買ヲ許サス

第八條

當商會ノ社長元締役ハ五株以上ヲ所持スル株主ニ限ルヘシ

但社長元締役ハ身元金トシテ在職中當商會ノ株式五株ノ券狀ヲ預ケ置キ決シテ之ヲ引出スコトヲ得サルヘシ

第九條

當商會ノ社長元締役ノ在職年限ハ一ケ年ト定ム故ニ毎年一月株主ノ總會ニ於テ之ヲ選舉スヘシ

但シ在職年限中ト雖_E其職務ニ付不都合アルキハ社長元締役協議ノ上退職セシメ又ハ臨時株主エ協議ノ上退職セシムルコトアルヘシ

第十條

社長元締役タル者ハ當商會ノ全体ニ注意シ一切ノ事務ヲ處分シ總テ其責ニ任スヘシ又當商會ノ營業ニ付緊要ナル諸規則ヲ議定スヘシ

第十一條

社長元締役ハ當商會ノ事務ヲ取扱フヘキ支配人并ニ手代等ノ諸役

員ヲ撰定シ其職務ヲ分課シ其給料ヲ定メ總テ之ヲ進退黜陟スベシ

第十二條

當商會ノ役員ト稱スル者ハ左ノ如シ

元締役 三人以上五人以下

内 社長 一人

支配人

但都合ニ寄リ元締役ニテ兼勤スルコトアルベシ

手代

但支配人並ニ手代ハ人員ヲ限ラス營業ノ都合ニヨリ便宜之ヲ定ムベシ

第十三條

支配人ハ社長元締役ノ指圖ニ從ヒ各課ノ事務ヲ引受ケ其擔當ノ制限ニヨリ社長元締役ニ對シテ之ヲ調理スルノ責ニ任スヘシ

第十四條

當商會ハ直輸出入ノ媒介ヲ以テ本業トナスト雖_E諸商人及諸製造所ノ依頼ニヨリ内國賣買ノ媒介ヲモ取扱フヘシ

第十五條

當商會營業ノ進歩ヲ助ケ内地物産ノ輸出ヲ誘導スルカ爲メ其損益ヲ本社ニ負擔シテ輸出ヲ試ムルコトアル可シ

但之ヲ用フル所ノ金額ハ當商會資本金額ノ四分一ヲ超ユベカラ

ス

第十六條

海外諸物品ノ相場ハ各國市場ノ代理店ヨリ每週報告ヲ得之ヲ得意先ニ報知スヘシ就中生糸製茶銅鐵地金銀等ノ如キハ相場ノ變化毎ニ其市場ヨリ電報到着次第即刻電報ヲ以テ各地方ノ得意ニ報知スヘシ

第十七條

當商會ノ營業取扱時間ハ本支店トモ毎日午前第八時ヨリ午後四時迄トシ休日ハ毎日曜日及定式ノ祝日祭日ニ限ル可シ

但休日又ハ營業時間外ト雖モ當商會事務ノ都合ニヨリ出勤スルコアルベシ

第十八條

當商會本店ニ於テ用フル所ノ印章ハ即チ左ノ如シ

日本貿易商會之印章

第十九條

當商會ノ總會ハ毎年一月本店ニ於テ執行スヘシ

第二十條

會議ノ決定ハ出席株主ノ同意多數ニ決ス

但シ株主投票發言ノ權ハ壹株ヨリ五株迄ハ各壹株ニ付壹個トス六株以上ハ五株毎ニ二箇宛ノ權ヲ有ス

第二十一條

社長元締役ハ何時ニテモ臨時總會ヲ催スコヲ得ヘシ又株數當商會總株ノ三分ノ一二下ラス其人員拾五名以上ノ株主ヨリ臨時總會ヲ請求スルコアルハ之ヲ催スコアルヘシ

第二十二條

都テ會議ノ議長ハ社長之ニ任スヘシ

第二十三條

發言投票ハ本人差支アルハ代人ニテモ苦シカラス尤代人ニハ左ノ委任狀ヲ渡スヘシ

委任狀之事

明治何 年 月 日貿易商會ノ總會ニ於テ何

某ヲ拙者代人トシテ投票發言爲致候仍而委任狀

如件

貿易商會株主

何 誰 印

貿易商會

御 中

第二十四條

當商會ノ役員タル者ハ本社ノ總會ニ於テ他人ノ代人トナリ發言投票ヲナスヲ得ス

第二十五條

第廿三條ノ旨趣ヲ以テ代人ヲ出スルハ必ラス當商會ノ株主中ノモノニ委任スヘシ若シ代人ヲ出サスシテ決議ノ後如何ナル異論アルトモ一切之ヲ申シ立ルコヲ得サルヘシ

第二十六條

當商會ノ總勘定ハ毎年十二月ヲ以テ滿一ケ年ノ決算ヲナシ且利益金ノ中ヨリ給料旅費其他一切ノ經費ヲ引キ去リ殘金ヲ以テ純益金トナシ其中ヨリ役員賞與金、臨時費、地所家作積金並別途積立金ヲ引去リ殘額ヲ以テ株主配當金ト定ム其割合左ノ如シ

純益金高百分之二十 役員賞與金

同 百分之八 臨時費

同 百分之四 地所家作積金

同 百分之七 別途積立金

差引殘高 株主配當金

第二十七條

株主配當金年一割五分以上ニ當ルハ社長元締役協議ノ上株主ニ謀リ多少積金ノ高ヲ増スコアルヘシ

第二十八條

當商會ノ株主ハ本支店ノ役員ニ就キ商賣ノ景況ヲ尋問シ又之ニ助言シ帳簿並ニ往復書翰等ヲ見聞スルヲ得ヘシ

第二十九條

此規則ノ條件ハ株主總會ノ決議ニヨリテ之ヲ更正シ又ハ増減スルコヲ得ヘシ

右ハ株主一同ノ衆議ヲ以テ相定メ各自姓名ヲ記シ調印致候也

早矢仕有的

水野忠精

西脇悌二郎

村松彦七

杉本正徳

朝吹英二

山崎千三郎

小野義眞

橋本重兵衛

中村道太

加藤典經

岩橋輒輔

加藤淑右衛門

西脇吉郎右衛門
 丸家善八
 小泉信吉
 日原昌造
 中村碌郎
 櫻井恆次郎
 長谷川吉郎次
 北川亥之作
 岡田棣
 橋本彌作
 稻垣眞郎
 森勝美
 笠原惠
 茂木惣兵衛
 川村傳衛
 種田誠一
 平野又十郎
 鬼塚通理
 小栗義一郎
 井上喬

藤岡正敏
 小野兒太郎
 岡本彌幸
 岡本春道
 吉永治道
 深瀬頼永
 荻野一
 永富謙八
 近藤孝行
 物集女清久
 神津吉助

〔注〕 有限責任貿易商會規則 半紙判 表紙共十丁

本書には刊年が記されていないが、第十五條に「明治十三年十一月十五日社中協議ノ上此一條を刪除ス」と朱筆が加えられていることから、貿易商會設立当時の規則と考えられる。